

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月11日

**【四半期会計期間】** 第62期第3四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社ナカニシ

**【英訳名】** NAKANISHI INC.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役 社長執行役員 中西 英 一

**【本店の所在の場所】** 栃木県鹿沼市下日向700番地

**【電話番号】** (0289)64-3380 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員 管理本部長 駒 田 裕 一

**【最寄りの連絡場所】** 栃木県鹿沼市下日向700番地

**【電話番号】** (0289)64-3380 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役員 管理本部長 駒 田 裕 一

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第61期 第3四半期 連結累計期間		第62期 第3四半期 連結累計期間		第61期	
		自	平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自	平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自	平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高	(千円)		16,959,694		18,899,622		22,583,136
経常利益	(千円)		5,633,481		6,159,069		7,036,785
四半期(当期)純利益	(千円)		3,444,867		3,715,826		4,340,596
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		3,579,417		4,736,115		5,463,525
純資産額	(千円)		37,765,731		43,046,133		38,830,322
総資産額	(千円)		40,743,252		47,473,725		42,869,624
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		575.34		630.82		726.32
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		575.01		630.30		725.88
自己資本比率	(%)		92.3		90.1		90.2

回次		第61期 第3四半期 連結会計期間		第62期 第3四半期 連結会計期間	
		自	平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自	平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		166.22		237.83

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下の通りであります。

(歯科製品関連事業)

DENTAL X S.p.Aの株式を取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より、連結子会社にしております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による景気対策の期待感などから円高及びデフレからの脱却の兆しが見られましたが、欧州の債務危機、領土問題に端を発した近隣諸国との関係は依然として厳しい状況が続いており、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、北米における販売網再構築の効果が徐々に出てきたこと、経済環境の厳しい欧州が比較的堅調に推移したことに加え、高い海外売上比率から円安の恩恵を受けました。一方、前年の工業製品関連事業における大幅な売上増をもたらした特需は終了しました。この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、18,899,622千円（前年同期比11.4%増）、営業利益は、5,829,928千円（前年同期比8.8%増）、経常利益は、6,159,069千円（前年同期比9.3%増）、四半期純利益は、3,715,826千円（前年同期比7.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （歯科製品関連事業）

当社グループの主要市場である欧州の売上は堅調に推移し、北米におきましては販売網再構築の効果が徐々に現れ始めました。この結果、売上高は、16,438,708千円（前年同期比21.1%増）、セグメント利益は、7,146,041千円（前年同期比21.7%増）となりました。

#### （工業製品関連事業）

前第3四半期連結累計期間におきまして、売上に大きく貢献いたしましたスマートフォン等の部品加工用としての機械装着用スピンドルの売上は平常に戻りました。この結果、売上高は、1,848,921千円（前年同期比34.5%減）、セグメント利益は、646,004千円（前年同期比43.4%減）となりました。

#### （その他事業）

修理等サービスにおきまして、売上高は、611,991千円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益は、109,097千円（前年同期比25.5%減）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,604,100千円増加し、47,473,725千円となりました。これは、現金及び預金が473,186千円減少した一方で、有価証券が1,609,565千円、投資有価証券が1,195,576千円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ388,289千円増加し、4,427,592千円となりました。未払法人税等が405,060千円減少した一方で、買掛金が338,994千円、その他流動負債が268,821千円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,215,810千円増加し、43,046,133千円となりました。利益剰余金が3,126,779千円、為替換算調整勘定が869,554千円増加したこと等によるものであります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、1,193,256千円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,283,960	6,283,960	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,283,960	6,283,960		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		6,283,960		867,948		1,163,548

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 393,400		単位株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,888,700	58,887	同上
単元未満株式	普通株式 1,860		同上
発行済株式総数	6,283,960		
総株主の議決権		58,887	

(注) 1. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式94株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ナカニシ	栃木県鹿沼市下日向700番地	393,400		393,400	6.26
計		393,400		393,400	6.26

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,977,151	14,503,965
受取手形及び売掛金	3,192,196	3,586,796
有価証券	1,663,841	3,273,407
金銭の信託	2,612,294	3,317,590
商品及び製品	2,642,943	2,944,937
仕掛品	1,940,276	1,853,644
原材料及び貯蔵品	1,704,108	1,827,341
繰延税金資産	598,248	791,671
その他	658,522	849,719
貸倒引当金	49,376	123,077
流動資産合計	29,940,205	32,825,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,464,863	4,619,897
機械装置及び運搬具	2,626,359	2,934,954
工具、器具及び備品	2,286,700	2,519,229
土地	1,274,908	1,355,464
建設仮勘定	72,516	272,464
減価償却累計額	6,124,342	6,742,360
有形固定資産合計	4,601,006	4,959,649
無形固定資産		
ソフトウェア	266,964	225,521
ソフトウェア仮勘定	36,520	36,983
のれん	22,301	484,469
その他	5,667	4,093
無形固定資産合計	331,453	751,067
投資その他の資産		
投資有価証券	4,844,337	6,039,914
関係会社株式	403,877	182,545
保険積立金	2,035,778	2,054,524
繰延税金資産	307,919	365,669
その他	407,141	446,451
貸倒引当金	2,094	152,094
投資その他の資産合計	7,996,960	8,937,010
固定資産合計	12,929,419	14,647,728
資産合計	42,869,624	47,473,725



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	362,755	701,750
短期借入金	104,361	112,310
未払法人税等	1,248,359	843,298
賞与引当金	-	115,280
その他	1,907,281	2,176,103
流動負債合計	3,622,758	3,948,742
固定負債		
長期借入金	-	47,277
繰延税金負債	44,675	50,439
退職給付引当金	231,068	240,332
その他	140,800	140,800
固定負債合計	416,544	478,849
負債合計	4,039,302	4,427,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,163,548	1,163,548
利益剰余金	40,216,981	43,343,761
自己株式	3,296,195	3,296,195
株主資本合計	38,952,283	42,079,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,852	278,102
為替換算調整勘定	456,962	412,591
その他の包括利益累計額合計	303,109	690,693
新株予約権	28,369	45,976
少数株主持分	152,779	230,399
純資産合計	38,830,322	43,046,133
負債純資産合計	42,869,624	47,473,725

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	16,959,694	18,899,622
売上原価	6,710,568	7,309,058
売上総利益	10,249,126	11,590,563
販売費及び一般管理費	4,888,723	5,760,634
営業利益	5,360,402	5,829,928
営業外収益		
受取利息	45,343	85,809
受取配当金	7,674	7,281
生命保険解約返戻金	733	692
為替差益	110,766	5,556
金銭の信託運用益	82,514	205,296
雑収入	36,331	31,212
営業外収益合計	283,363	335,847
営業外費用		
支払利息	1,071	1,043
雑損失	9,213	5,664
営業外費用合計	10,285	6,707
経常利益	5,633,481	6,159,069
特別利益		
固定資産売却益	139	812
投資有価証券売却益	7,580	-
生命保険解約差益	991	-
特別利益合計	8,711	812
特別損失		
固定資産売却損	6,842	1,014
固定資産除却損	1,088	271
投資有価証券売却損	2,990	12,930
投資有価証券評価損	1,080	-
関係会社株式評価損	-	256,890
貸倒引当金繰入額	-	150,000
特別損失合計	12,001	421,106
税金等調整前四半期純利益	5,630,190	5,738,774
法人税、住民税及び事業税	2,186,371	2,314,595
法人税等調整額	24,127	315,967
法人税等合計	2,162,243	1,998,627
少数株主損益調整前四半期純利益	3,467,947	3,740,146
少数株主利益	23,080	24,320
四半期純利益	3,444,867	3,715,826

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,467,947	3,740,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129,602	124,249
為替換算調整勘定	18,133	871,719
その他の包括利益合計	111,469	995,968
四半期包括利益	3,579,417	4,736,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,559,070	4,709,629
少数株主に係る四半期包括利益	20,346	26,486

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 DENTAL X S.p.Aの株式を取得したため、当第3四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、当該変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

		前第3四半期連結累計期間 (平成24年1月1日 平成24年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (平成25年1月1日 平成25年9月30日)
減価償却費	円	585,822千	円	570,483千
のれんの償却額		27,935千円		31,367千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	599,048	100.00	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	589,046	100.00	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,570,391	2,824,641	564,661	16,959,694		16,959,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	13,570,391	2,824,641	564,661	16,959,694		16,959,694
セグメント利益	5,872,131	1,142,187	146,445	7,160,765	(1,800,362)	5,360,402

(注)1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	歯科製品関連	工業製品関連	その他	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,438,708	1,848,921	611,991	18,899,622		18,899,622
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	16,438,708	1,848,921	611,991	18,899,622		18,899,622
セグメント利益	7,146,041	646,004	109,097	7,901,142	(2,071,214)	5,829,928

(注)1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第3四半期連結会計期間に「歯科製品関連」セグメントにおいて、DENTAL X S.p.A株式を取得し、子会社化したことに伴い、のれんが493,535千円増加しております。

(企業結合等関係)

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及び事業の内容

名称：DENTAL X S.p.A

事業の内容：オートクレーブの設計・開発・製造・販売・保守

企業結合を行った主な理由

当社は主力事業である歯科ハンドピースを中心に様々な回転機器の製造・販売事業を展開してまいりましたが、今後のさらなる成長のために歯科用回転機器と不可分な関係にある滅菌器（オートクレーブ）メーカーであるDENTAL X S.p.Aの株式を取得しました。

企業結合日

平成25年7月1日

企業結合の法的形式

現金を対価とした株式の取得

結合後企業の名称

変更ありません。

取得した議決権比率

80%

取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価として株式を取得したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成25年7月1日から平成25年9月30日

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	現金及び預金	698,072千円
取得原価		698,072千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん

493,535千円

発生原因

歯科製品関連事業において、今後の事業展開によって期待される、将来の超過収益力から発生したものであります。

償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	575円34銭	630円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	3,444,867	3,715,826
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	3,444,867	3,715,826
普通株式の期中平均株式数(株)	5,987,545	5,890,466
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	575円01銭	630円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	3,446	4,842
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

当社は、平成25年11月8日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行なう理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため

2. 取得の内容

(1) 取得する株式の種類

当社普通株式

(2) 取得する株式の総数

35,000株(上限)

(3) 取得価額の総額

500,000千円(上限)

(4) 取得期間

平成25年11月13日から平成25年11月29日

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社ナカニシ  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 上 林 三子雄 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 南 山 智 昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ナカニシの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ナカニシ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成25年11月8日開催の取締役会において、自己株式を取得することを決議している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。